



～どんぐりの恋～



きらめき亀山21 かめさん

きらめき亀山21広報部
amani@helen.ocn.ne.jp

第30号

2003年9月21日発行

「高塚池かいぼり大作戦」 みんなの協力で大盛況！

冷夏だったこの夏もようやく晴れ渡った8月24日（日）亀山市の西端、今、建設が進む工業団地近くのサンシャインパークで、珍しい「かいぼり」が開催されました。



子どもも大人も泥んこになって熱中！

ついに泥の中で泳ぎだす子も・・・



目次：

「高塚池かいぼり」	1
子育て支援 「かめのこ」特集	2
ぼっかぼかの会	3
これからの行事予定	4

2003年10月21日（火）
19：30～21：30
「市民交流の日」

市役所3階大会議室
事前申し込み等不要
その日来た人は
みんな仲間！

外国人による 日本語弁論大会

2003年11月2日（日）
時間：午後1：00～3：00
亀山市文化会館
2階会議室
出場者募集中！

電子版文芸のページ 「温故知新」

昔を知って創ろう未来！

原稿募集中！

あなたの想いをインターネットで！

詳細は
ホームページで

「高塚池かいぼり大作戦」には、皆様の多大なご協力・ご参加をいただきありがとうございました。おかげさまで、市内外から非常に多くの方々（受付者総数379名）にご参加いただき、事故もなく行事として大成功に終わりました。

かいぼりでは、大型の鯉が多くいたこともあり、子どもだけでなく、大人も童心にもどり魚を追っかけていました。ドロに慣れない子どももいましたが、ドロの中で泳ぐ子どももいて、魚の捕獲とともに歓声がわきたつひと時でした。池の場合は「池こね」というのが普通ですが、この種の行事は、かつて水田耕作でため池から水を抜いた時などに池の維持管理と娯楽を兼ねた地域行事として、昭和30年代ごろまでよく行われていたと聞きます。こうした農村の生活に根ざした行事が、今でもこうした大きな集客力を持つことに驚かされます。家でテレビゲームばかりという子ども達も、昔の環境が身の回りにあれば昔の子ども達と同様に地域の自然のなかで遊ぶのではないかとも思いました。さて、行事の主目的としていた外来魚の駆除と在来魚の保護の点については、ブラックバスは680匹、鯉が大型のものばかり48匹、という結果でした。残念ながら、在来魚は鯉のみで、昔であれば当たり前のフナ、モロコ、モツゴ（亀山地域では「ミトゴイ」又は「ミゾゴイ」）、タナゴ、ヨシノボリ類、また昔の高塚池で多く見られたオイカワなど川魚は一切捕獲されませんでした。外来魚以外にも様々な環境変化があるでしょうが、ブラックバスが他の在来魚の存在を許さない恐ろしい魚であることが、この「高塚池かいぼり大作戦」の結果からも明らかになりました。他の池でもこうした池干しの実施が必要であるとも実感しました。最後にこの行事は、水利権者等地域の協力、排水力の高いポンプを何台もの設置、案内看板作成や体洗い用の水道の設置等各種資材の設置、子ども達への環境教育、駐車場の確保、ドロだらけの魚取り作業、炎天下での作業等、多くの方々からの多大なご協力により、実施することができました。また自治会長さんを始め地元の方々も、関心を持っていただき、途中よくお声がけ、声援をいただきました。本当にありがとうございました。ここに御礼申し上げます。

水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座 栗原 勉 桜井 好基



子育て中のお母さん・お父さんに強い味方！ 支援グループ「かめのこ」発足 既に20回余の派遣実績

今年の7月より発足した子育て支援グループ「かめのこ」。誕生から3ヶ月、その活動を紹介します。
地域で子育てを助け合うことで安心して子どもを生み育てる環境をつくろう！

子育て支援グループ「かめのこ」は個人対個人の有料託児とイベント等でのボランティアによる集団託児を実施しています。日本ではベビーシッター制度はまだ普及していませんがアメリカを例に取れば高校生になるとベビーシッター（13歳以下の子どもと一緒に留守番）のアルバイトがごく普通に行われています。これは州法等で13歳以下の子どもだけで留守番させることや、子どもを車の中に短時間でも置き去りにしたりすることが禁止されている背景もありますが子どもを社会全体で保護し育てることが社会習慣として定着しているのです。

日本では特に中高年以上の世代には保育園等の施設は別として子どもを身内以外の他人に託すことに抵抗がある人も多いと思います。しかしこの亀山でも核家族化がすすみ実家が遠方で身内に頼めない新所帯の家庭も多くなってきました。この傾向は今後ますます増えると思われます。

家庭で子育てに専念するという事は、たやすいことではありません。外出や社会活動も制限されます。一時期にせよ、社会から隔絶され閉塞感や孤独感に陥ったり情報の中で戸惑ったりして、これが育児不安に結びつくこともあります。このようなご家庭に、必要な講習を受けた育児サポーターが出向き時にはリフレッシュをしていただいたり、子育て中の親御さんが講座やイベント等に参加できるようお手伝いしたり、交流会・講習会などを開いたりすることで、どんなにか子育てを生き生きとしたものにするのでしょうか。

子育てはもはや保育所などの施設型保育だけではサポートしきれない時代です。例えば病後児の保育所を作るとしたら、施設に対するコストがかかりますが、家庭に伺うサポートでしたら、施設を作る必要もありませんし、保護者が施設に子どもを連れていったりする必要もありません。自宅で安静にしているほうが、子どもにとっても良いのではないのでしょうか。その他、保育施設への送迎、急な用事の場合の託児など、核家族にとって子育てサポート制度は無くしてはならないものになってきています。

この亀山ではたして利用者がいるのか不安の中で発足した「かめのこ」ですが、サポーターを派遣した回数は既に20回を越え利用した人も4人ほどになりました。また、講座での集団託児も1件引き受けています。これから広報活動や口コミで更に利用者が増えてくると思われます。それには更に子育てを援助してくれる人材を多く集め利用者のニーズに対応できる体制の確立が必要です。

「かめのこ」では運営部会、広報部会、サポーターや保護者への研修等を担当する交流部会の3部会を決め活動しています。子育て中の方、子育てを終えた方問わず、ぜひ皆さんの参加をお待ちしています。

お問合せは 0595-82-9755 へ



写真は依頼者からの電話を受ける児童センター内の部屋

利用料金

(お一人につき1時間あたりの料金。2人目からは半額)...

7:00 ~ 9:00

700円

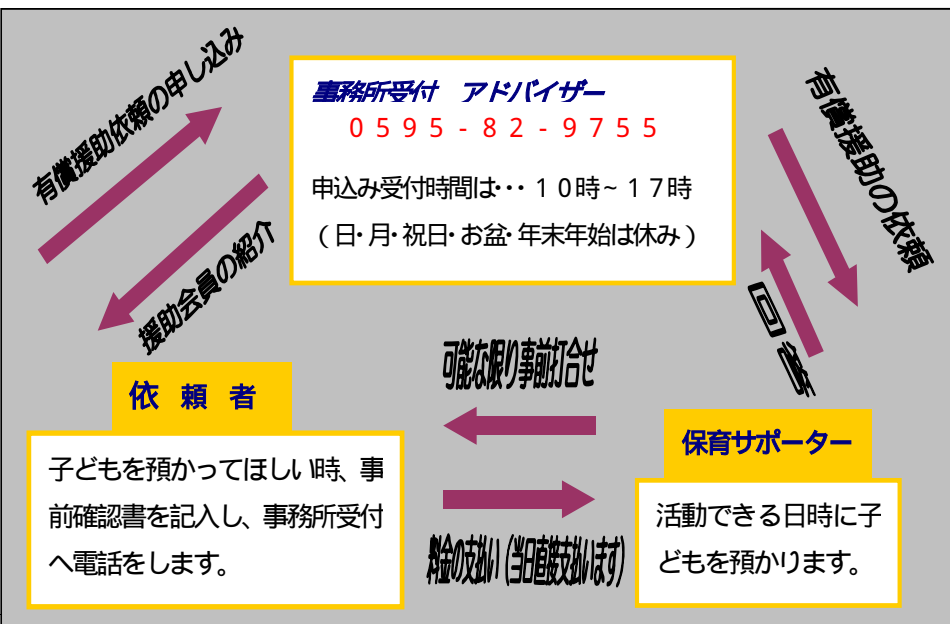
9:00 ~ 17:00

600円

17:00 ~ 20:00

700円

(なお、自家用車を利用したときは、1kmあたり20円を実費相当額とします。)





ぽっかぽかの会 座談会「一般就労の現状」報告

日時 9月15日(月) 10:00~12:00
場所 あいあい2階 研修室
講師 鈴鹿公共職業安定所 橋爪美伸(よしのぶ)氏
参加者 10名



今回は、実際障害のある方たちが一般企業で働く場合、どのようなところで働いてみえるのか、また、これから働くに当たってどのようなことを頭に入れておくのがよいのか、また、最近言われている、ジョブコーチ制度について簡単に話をさせていただきました。橋爪氏の話について、それぞれが質問をしていく形で行われました。企業名こそ出されませんが、障害者を雇う企業は、以前よりは増えてはいるものの、法定雇用率の1.8%にはまだ程遠い現状、せつかくあるジョブコーチ制度も、常駐で各法人・団体がそのための人を雇う上で不安定要素が災いして、金銭的にも一人一人確保できない状況など、難しい面がわかりました。また、就職するに当たり何か特別な資格を取る必要があるのではと思っていた親御さんもみえたようでしたが、基本的な生活習慣を身につけることのほうが大切という話も聞かせていただきました。自立の仕方にもいろいろありますが、一般企業において働かせていただくのも、その選択肢の一つかなと思います。金銭的にはパート収入くらいは、期待できそうで、これで余暇が楽しめたら本人にとっても楽しい生活が送れるのではと思います。

今回は、鈴鹿の(社)和順会の方にも同席いただき、より幅広くお話をうかがうことが出来ました。話の後のアンケートには、職業センターの取り組み、実際に障害者を受け入れている雇用者の話、働いている方の話が聞きたいなどさまざまな反応があり、この件につきましては、次回につなげていきたいと思っています。

報告 浜野



子ども達はこうして生き方を学びます。

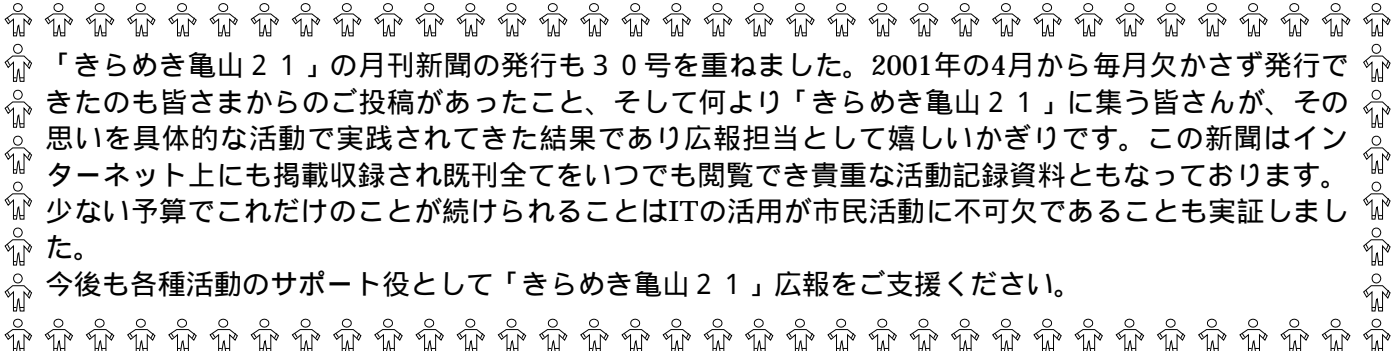
- 批判ばかり受けて育った子は 非難ばかりします
- 敵意に満ちた中で育った子は だれとでも戦います
- ひやかしを受けて育った子は はにかみ屋になります
- ねたみを受けて育った子は いつも悪い事をしているような気持ちになります
- はげましを受けて育った子は 自信を持ちます
- ほめられる中で育った子は いつも感謝することを知ります
- 公明正大な中で育った子は 正義心を持ちます
- 思いやりのある中で育った子は 信仰心を持ちます
- 人に認めてもらえる中で育った子は 自分を大切にします
- 仲間の愛の中で育った子は 世界に愛を見つけます

ドロシー・ロー・ノルト の言葉より



今後の行事

踊りと祭りを考える会	9月22日(月) 19:30～	市役所 2F 第1会議室	
高塚池魚礁づくり	9月27日(土) 8:00～	サンシャインパーク高塚池	在来魚が住めるよう、魚のすみかをつくります。ボランティア募集中！
おにえ祭り研究会	9月29日(月) 19:30～21:00	川崎コミュニティ	川崎コミュニティへの説明会 (御贄神事の実施方法等)
「国際理解教育、外国籍生徒の教育を考える」講演会	10月1日(水) 18:00～20:30	亀山高校定時制ホール	講師天理大学国際文化学部ブラジル科助教授、北森 絵里先生 演題 「ブラジル文化と教育」
企画会議	10月1日(水) 19:30～	市役所 3F 理事者控室	
ぽっかぽかの会 座談会 「どんな作業所があるの？」	10月2日(木) 10:00～12:00	あいあい 2階 研修室	亀山市近辺の作業所について話します。
地域の活性化を考える会	10月6日(月) 19:30～	市役所 2F 第1会議室	
水辺づくりの会 鈴鹿川のお座	10月9日(木) 19:00～21:00	あいあい 2階 研修室	鈴鹿川・魚の生息環境を考える会 意見交換会
KIFA亀山国際交流の会 定例会	10月14日(火) 19:30～	市役所 3F 理事者控室	KIFAMIGO2004ふれあい広場： 交流会について
ぽっかぽかの会 お菓子作り教室	10月16日(木) 10:00～12:00	あいあい 2階 栄養指導室	
宿場の賑わい復活一座	10月16日(木) 19:30～	市役所	
ぽっかぽかの会 定例会	10月17日(金) 19:00～21:00	あいあい 2階 小会議室1	
「さかなの目」流域環境創造 リーダー養成講座	10月18日(土) 17:00～19:00	あいあい 2階 研修室	鈴鹿山系からの伏流水について他
ぽっかぽかの会 アート教室	10月19日(土) 10:00～12:00	あいあい 2階 いきがい工作室	
子育て支援「かめのこ」 全体会議	10月21日(火) 10:00～12:00	児童センター 集会室	
定例市民交流の日	10月21日(火) 19:30～21:30	市役所 3F 大会議室	テーマは、10月上旬「きらめき亀山21」ホームページでお知らせします


 「きらめき亀山21」の月刊新聞の発行も30号を重ねました。2001年の4月から毎月欠かさず発行できたのも皆さまからのご投稿があったこと、そして何より「きらめき亀山21」に集う皆さんが、その思いを具体的な活動で実践されてきた結果であり広報担当として嬉しいかぎりです。この新聞はインターネット上にも掲載収録され既刊全てをいつでも閲覧でき貴重な活動記録資料ともなっております。少ない予算でこれだけのことが続けられることはITの活用が市民活動に不可欠であることも実証しました。

今後も各種活動のサポート役として「きらめき亀山21」広報をご支援ください。

編集作成：「きらめき亀山21」広報

この月刊新聞は毎月21日の交流会に配布され市役所市民活動コーナーと各公共施設でも入手できます。

EMAIL amani@helen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/kirameki/>

亀山市民ネット <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/>